

【口腔保健衛生学専攻・歯科衛生士学校】

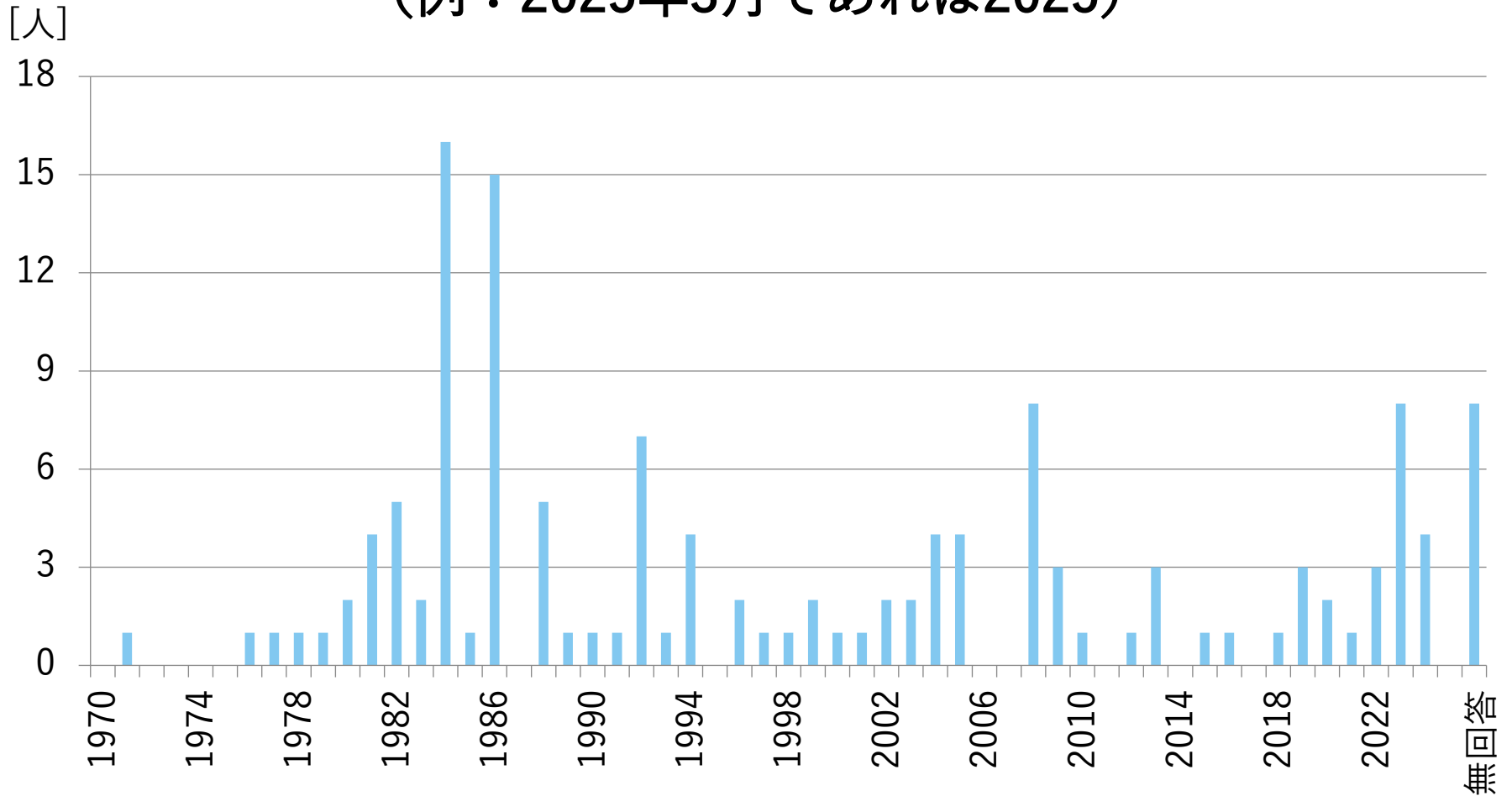
卒業生進路アンケート 集計結果

2025年度実施分

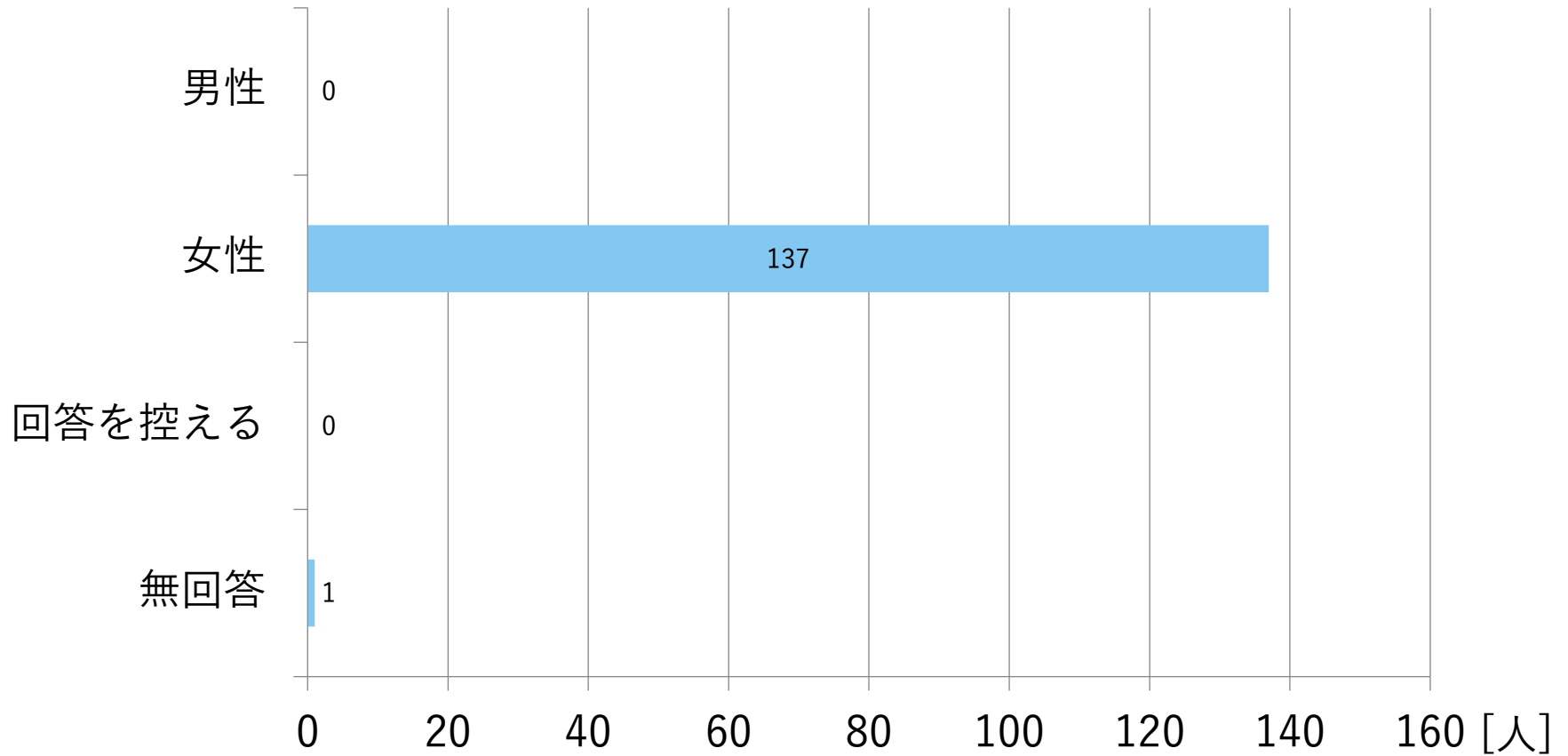
(回答者138名/発送数622件)

東京科学大学 教育本部 教学評価部門

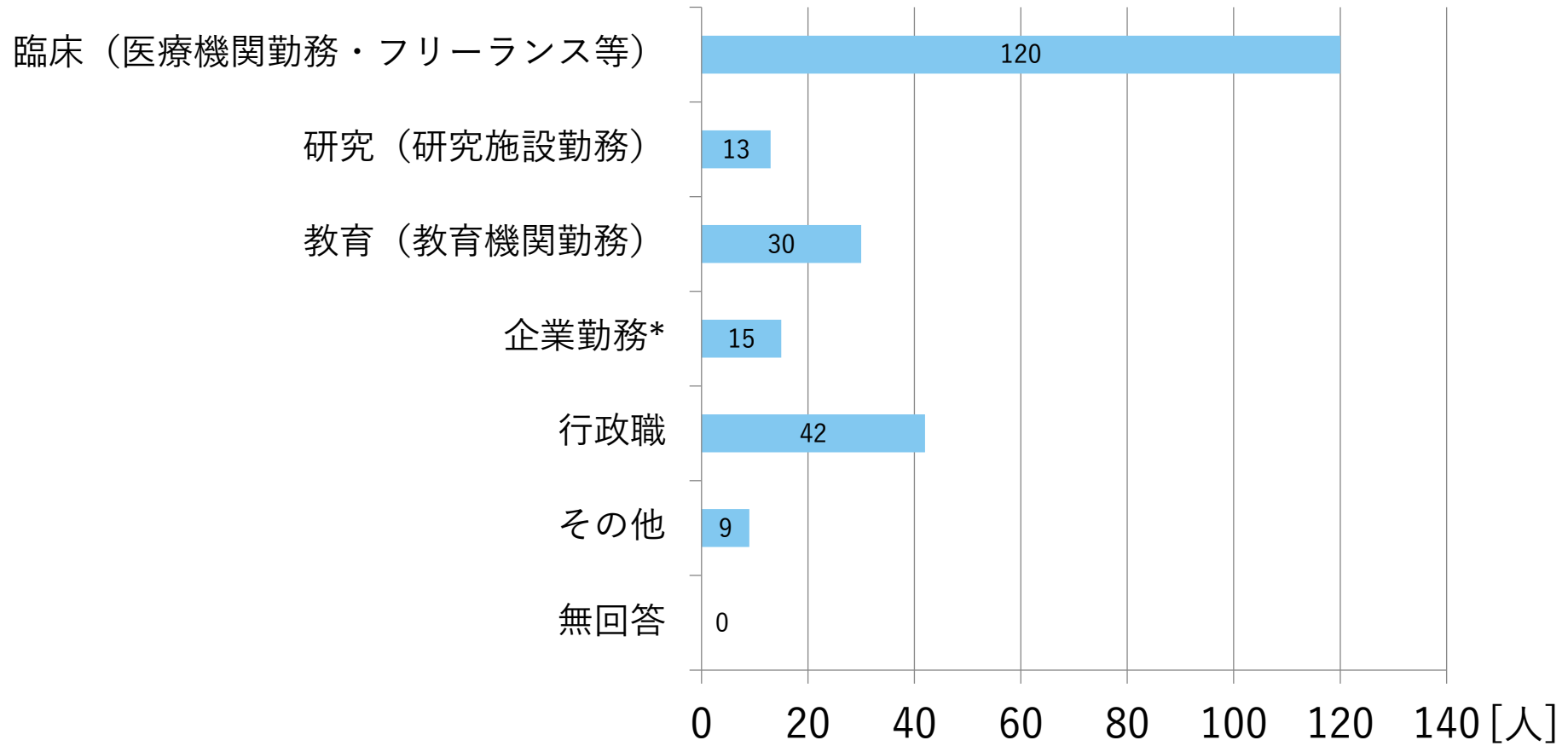
学部/歯科衛生士学校 卒業年 (例：2025年3月であれば2025)



性別

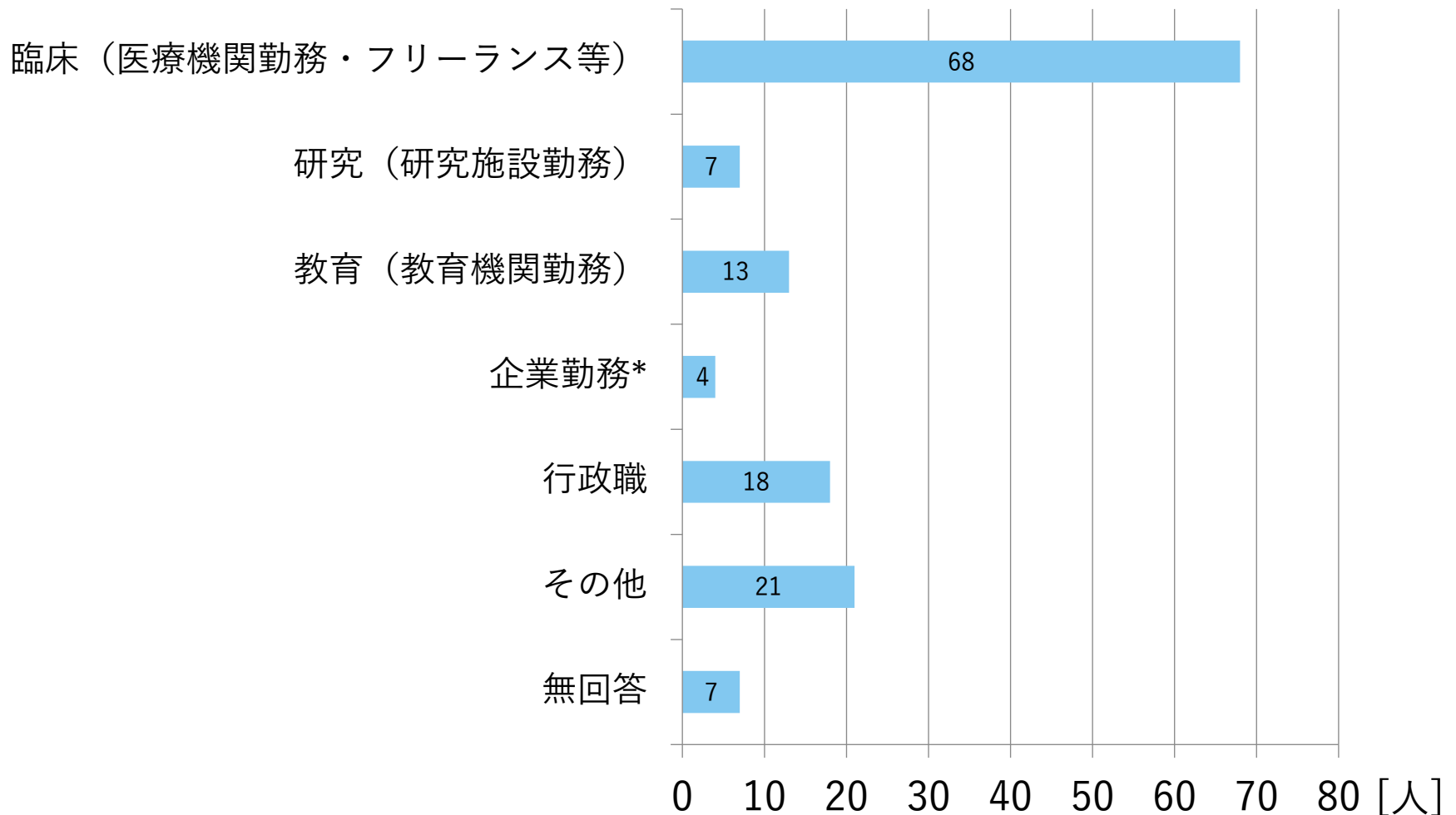


学部/歯科衛生士学校卒業以降、 携わっていた時期のあるもの全て（複数選択可）



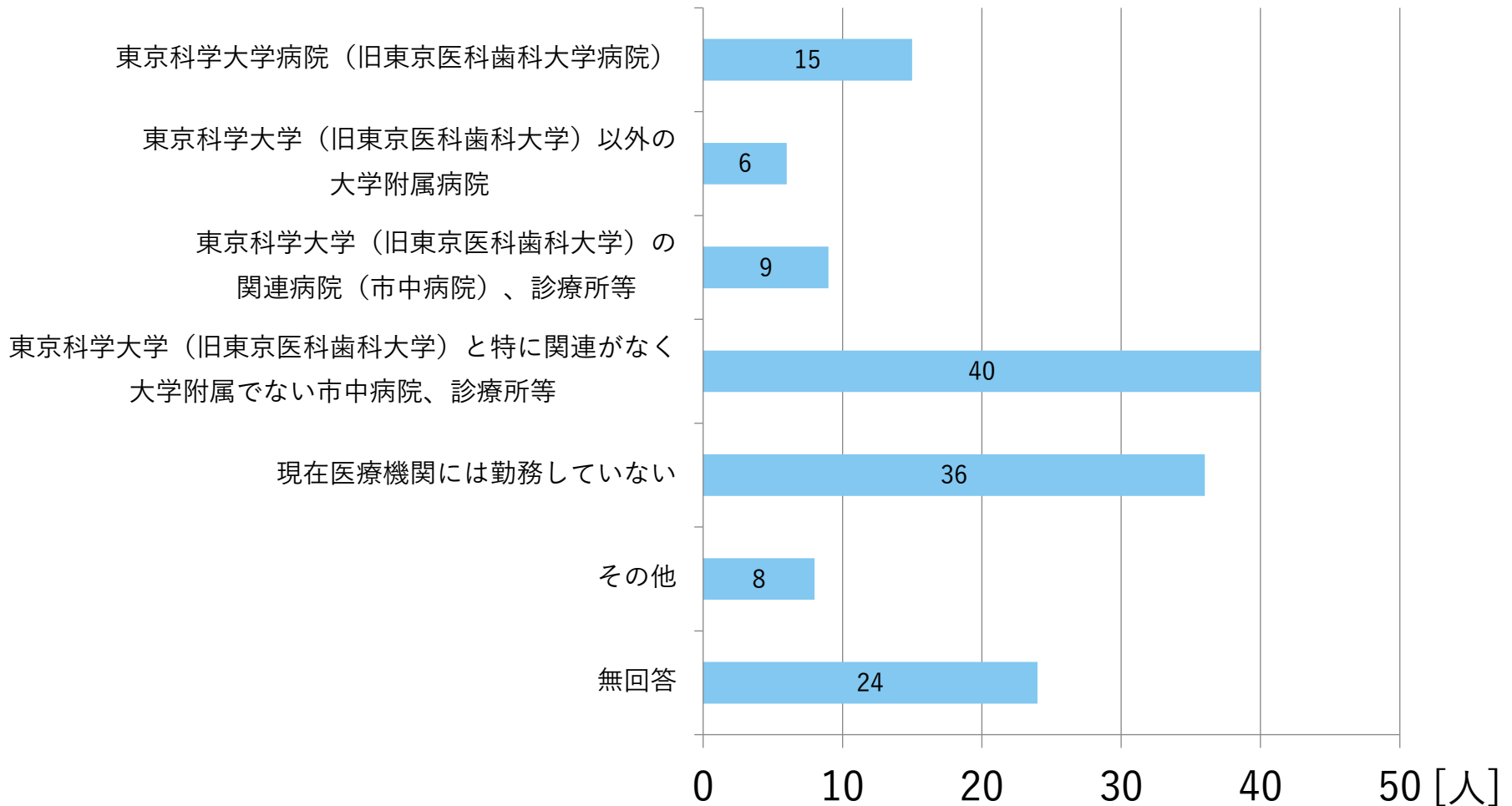
*ただし臨床業務が主の場合は臨床のみを、研究業務が主の場合は研究のみを選択

現在最も携わっていると自分と思うものの一つ

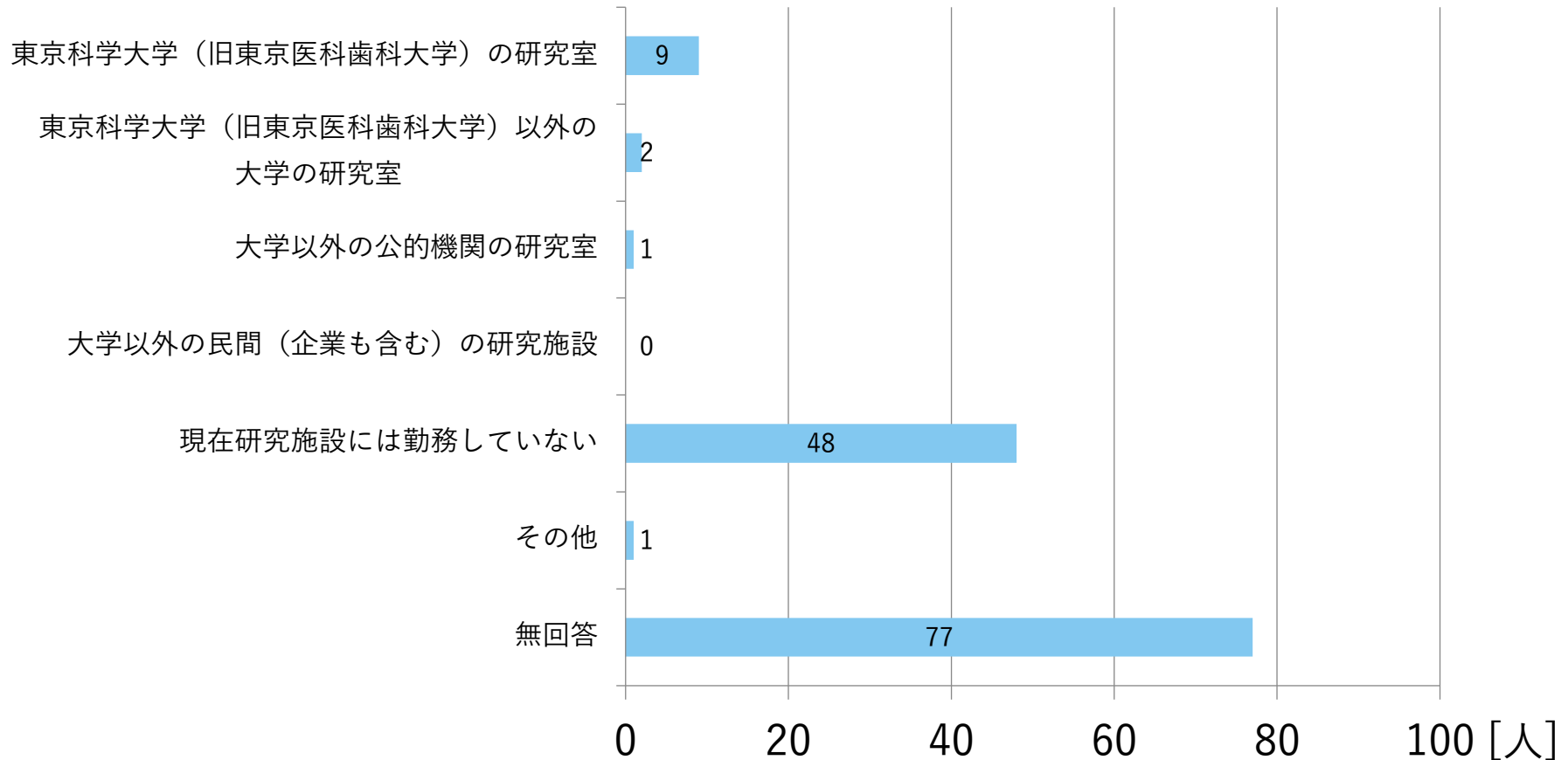


*ただし臨床業務が主の場合は臨床を、研究業務が主の場合は研究を選択

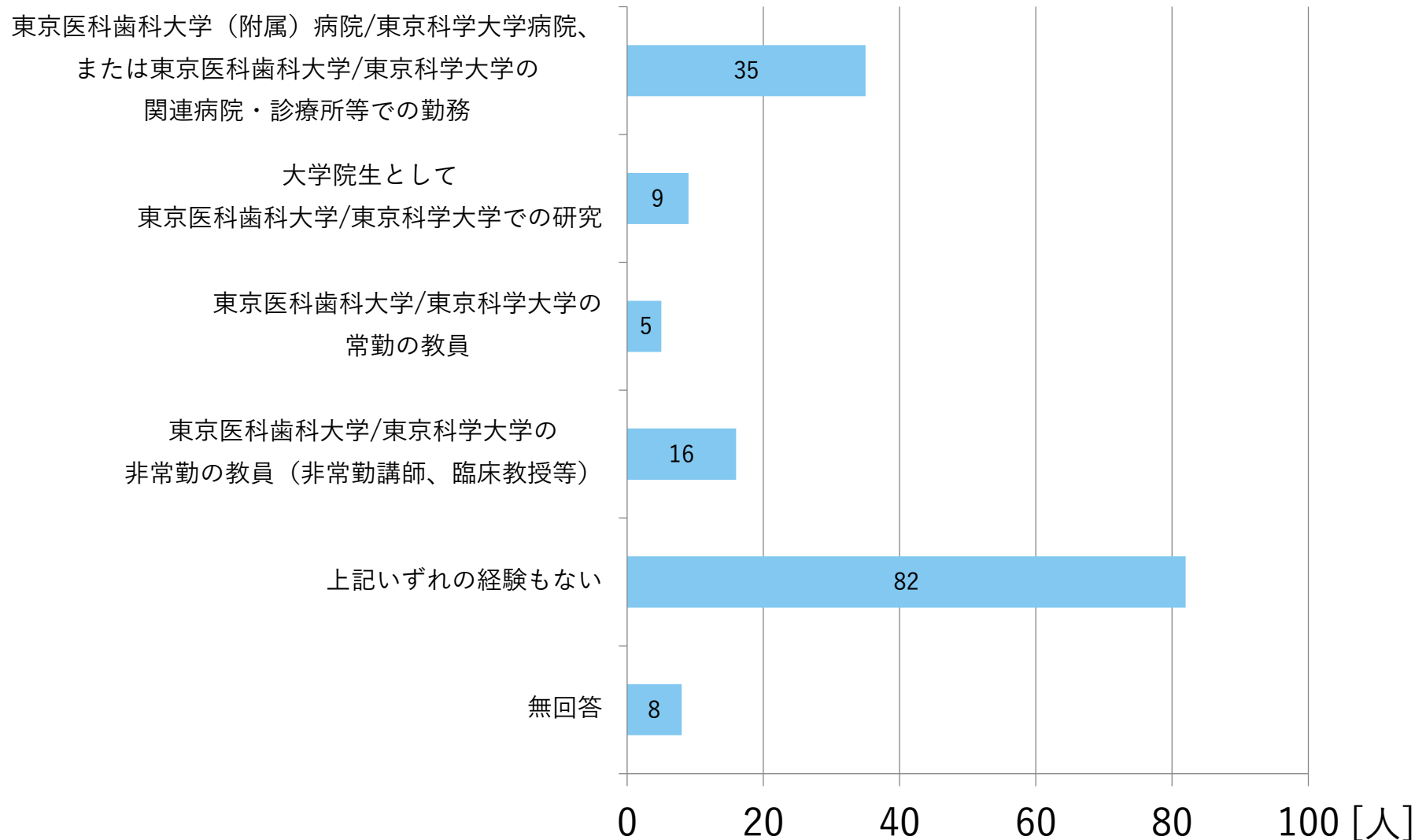
現在医療機関に勤務している方は、 主な勤務先として最も近いと思うものの一つ



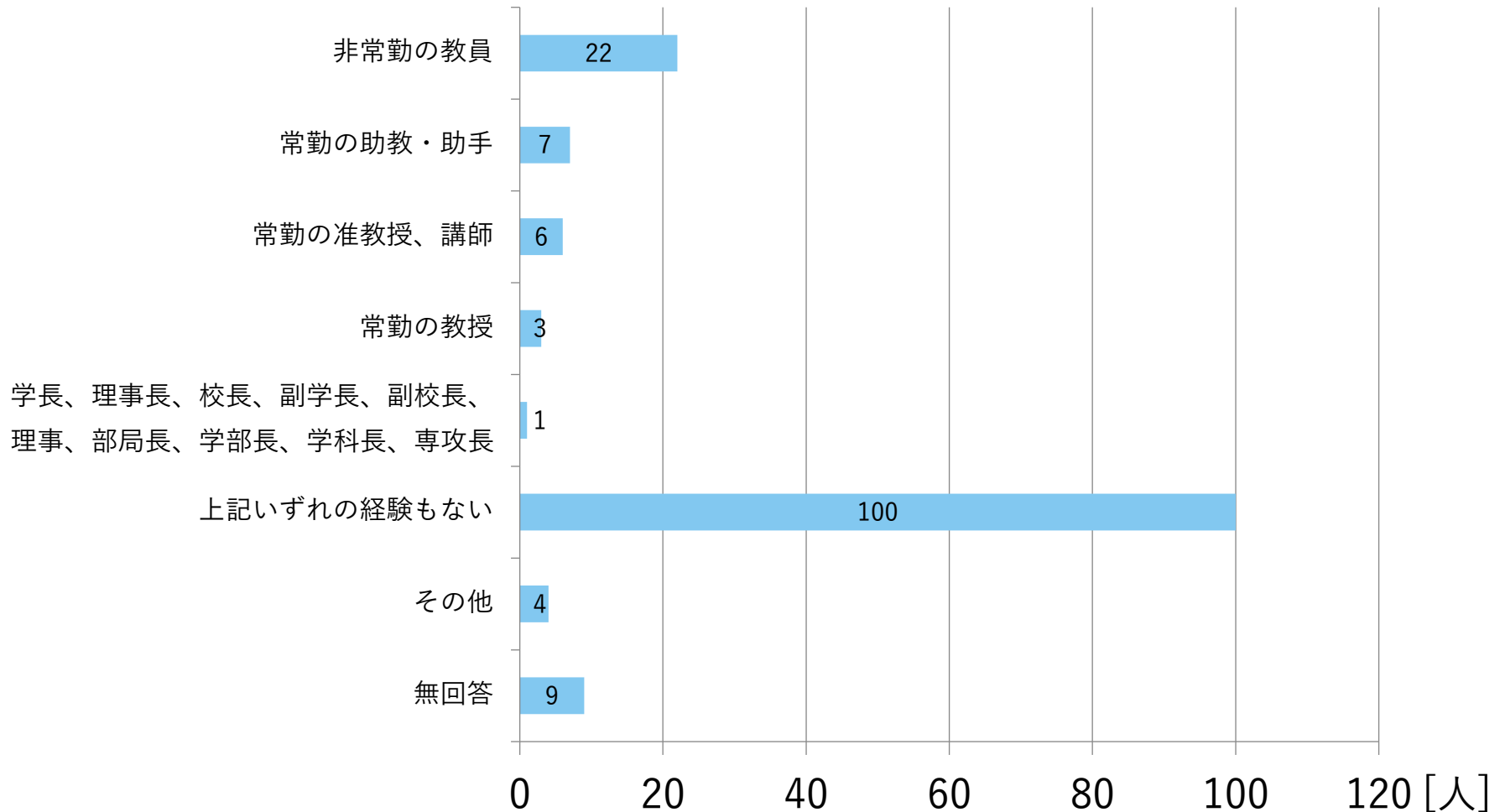
現在研究施設に勤務している方は、 主な勤務先として最も近いと思うものの一つ



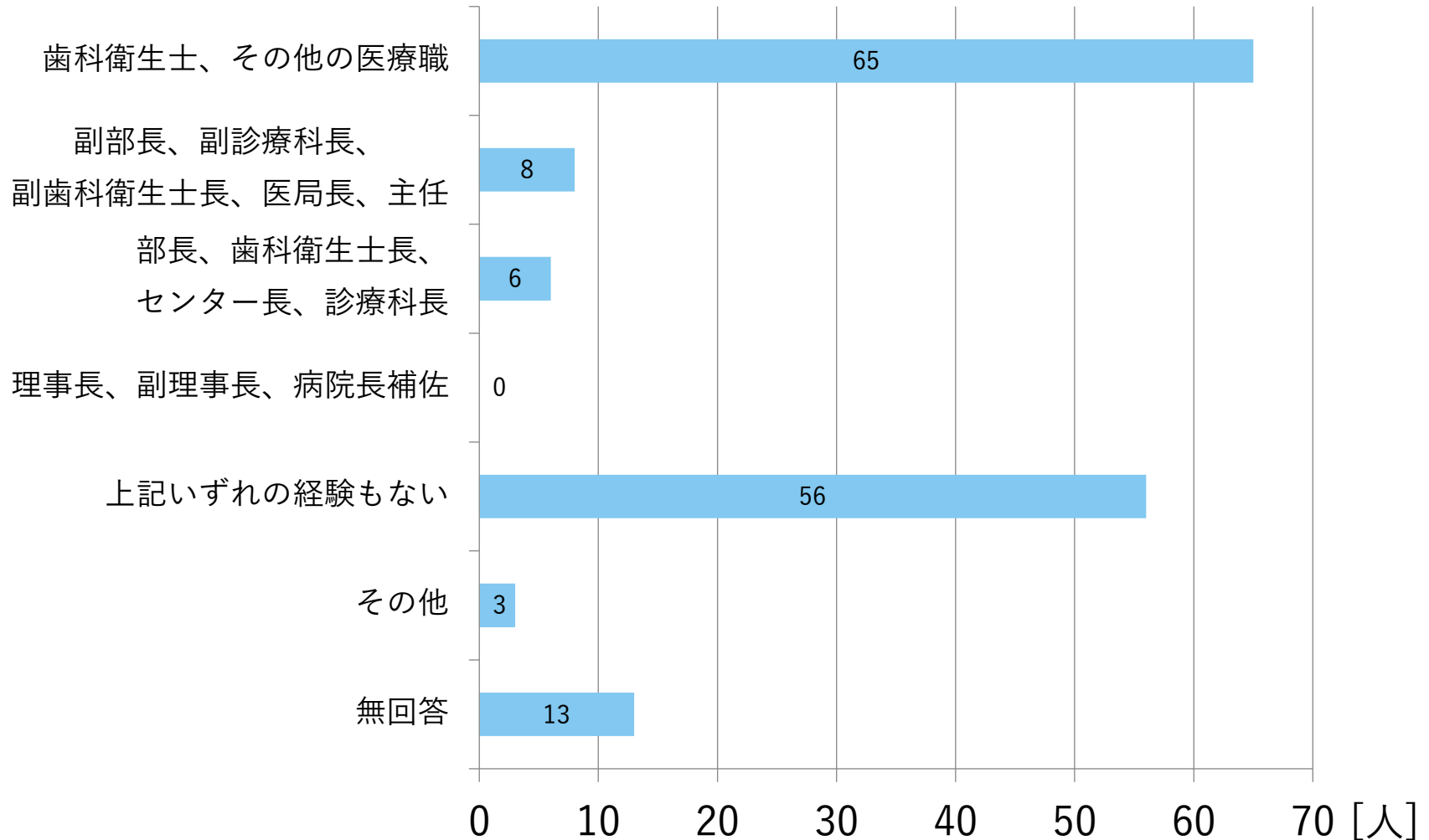
学部/歯科衛生士学校卒業以降の
東京医科歯科大学/東京科学大学に関連した在籍経験につき、
該当すると思うもの全て（複数選択可）



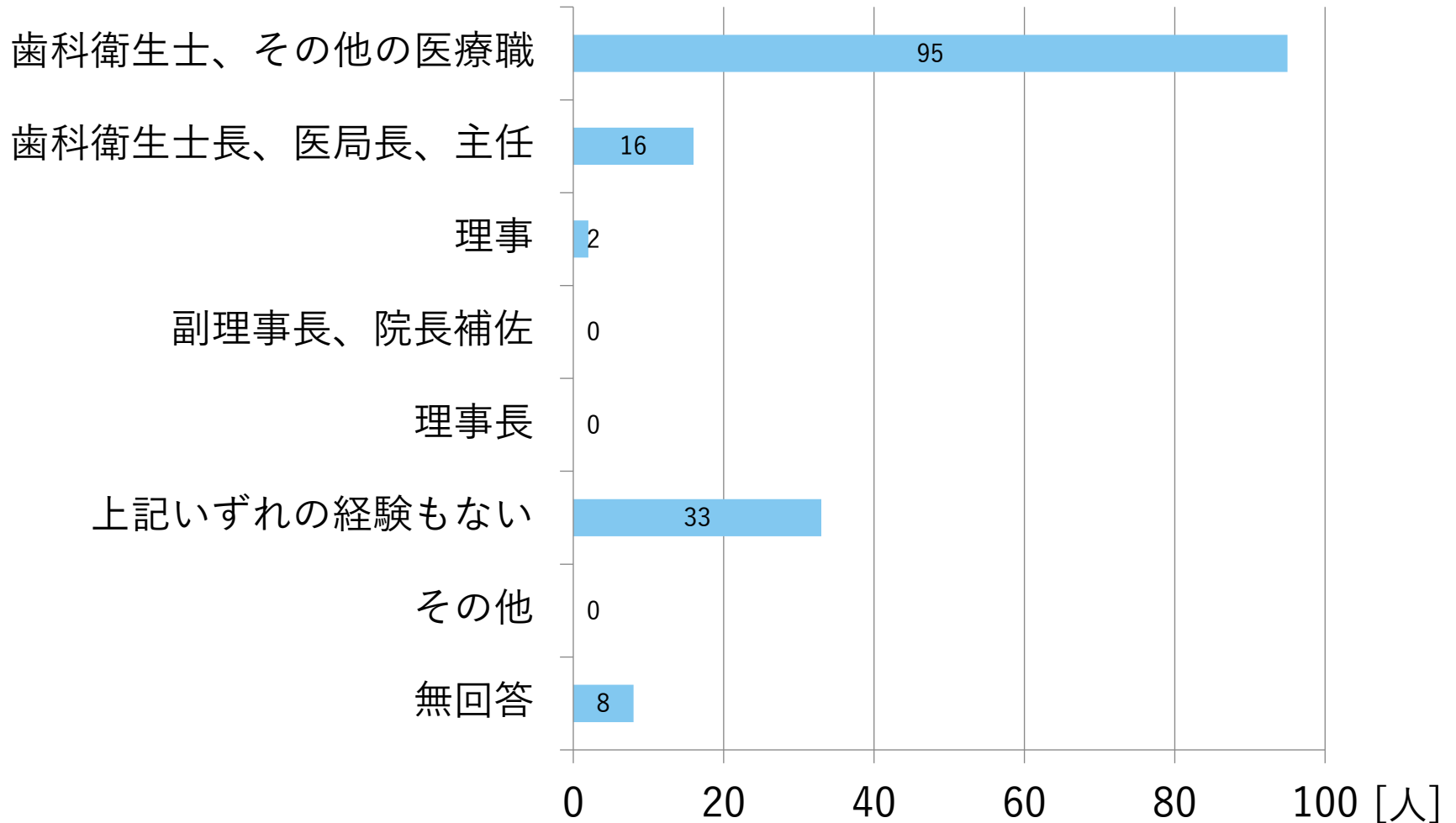
教育や研究機関に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



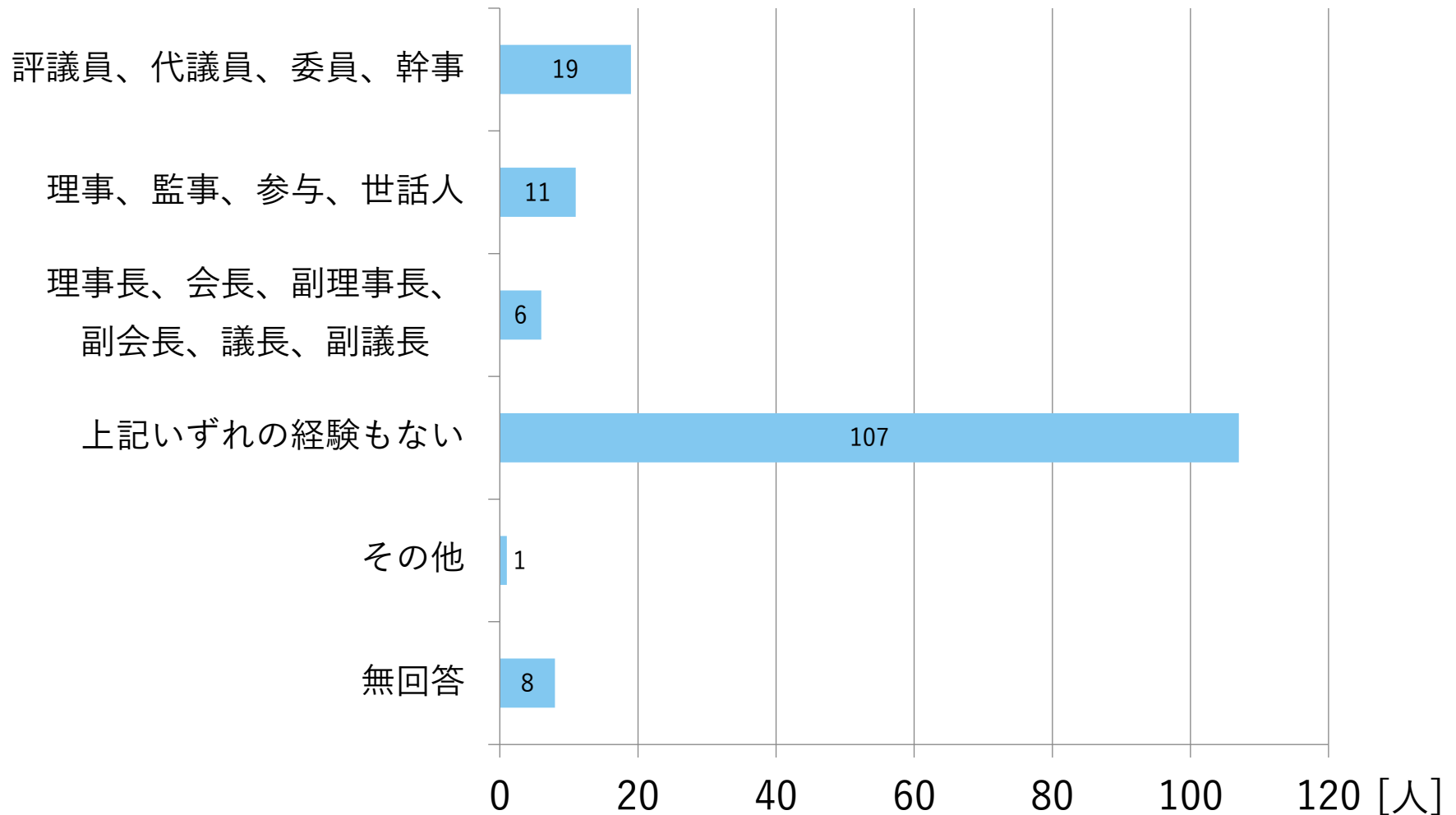
病院に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



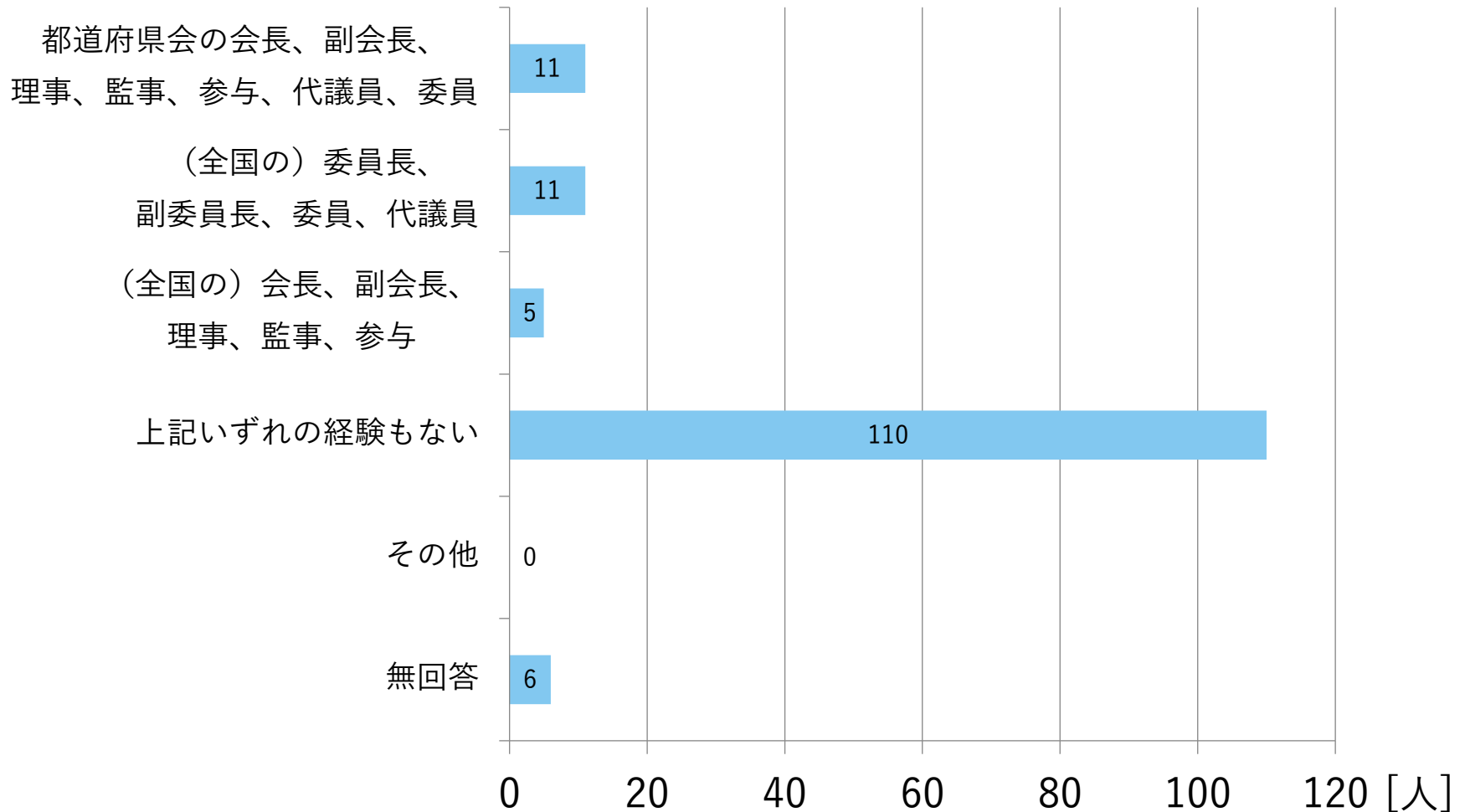
診療所に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



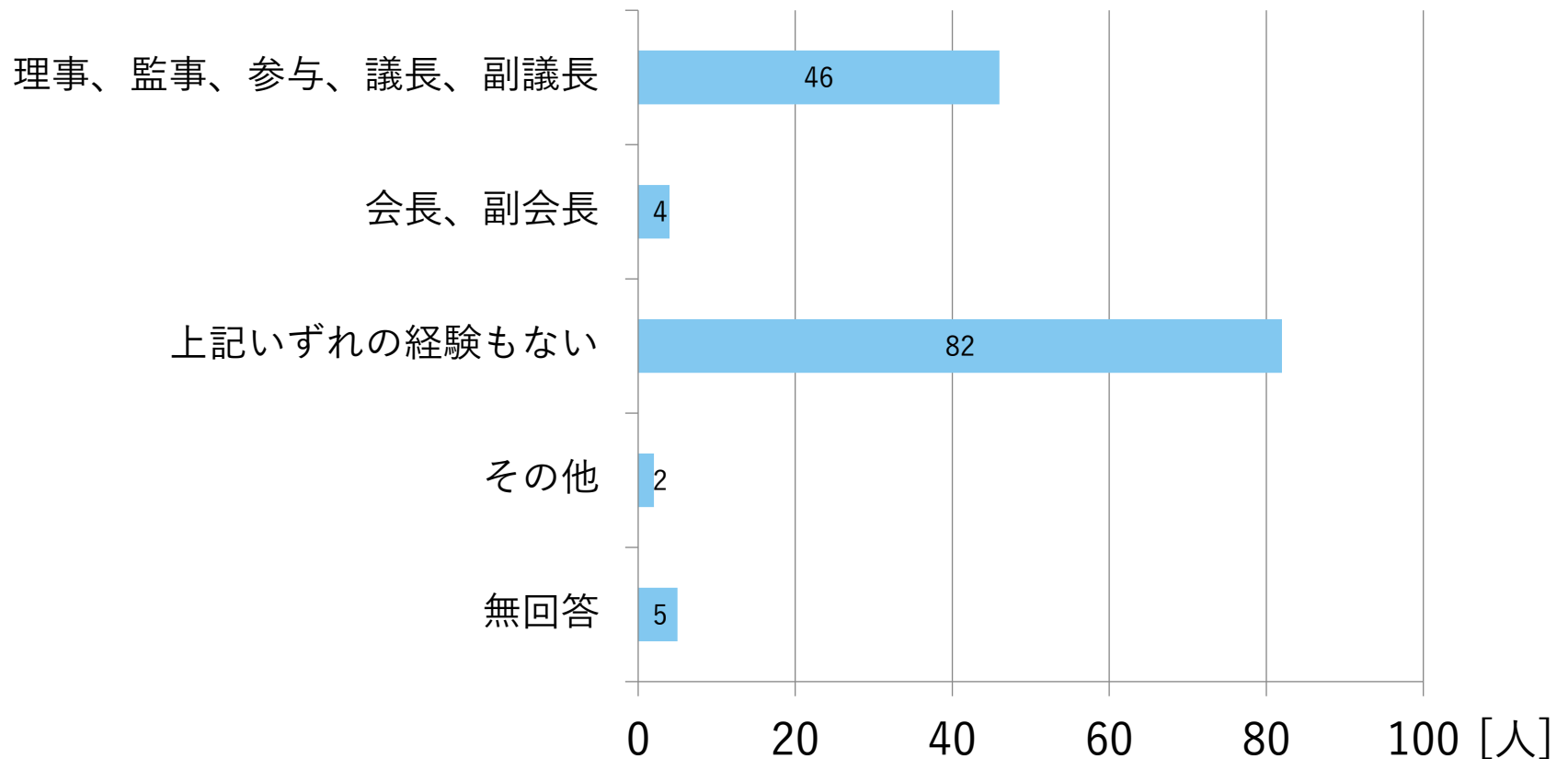
学会・協会・協議会や公益団体等に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



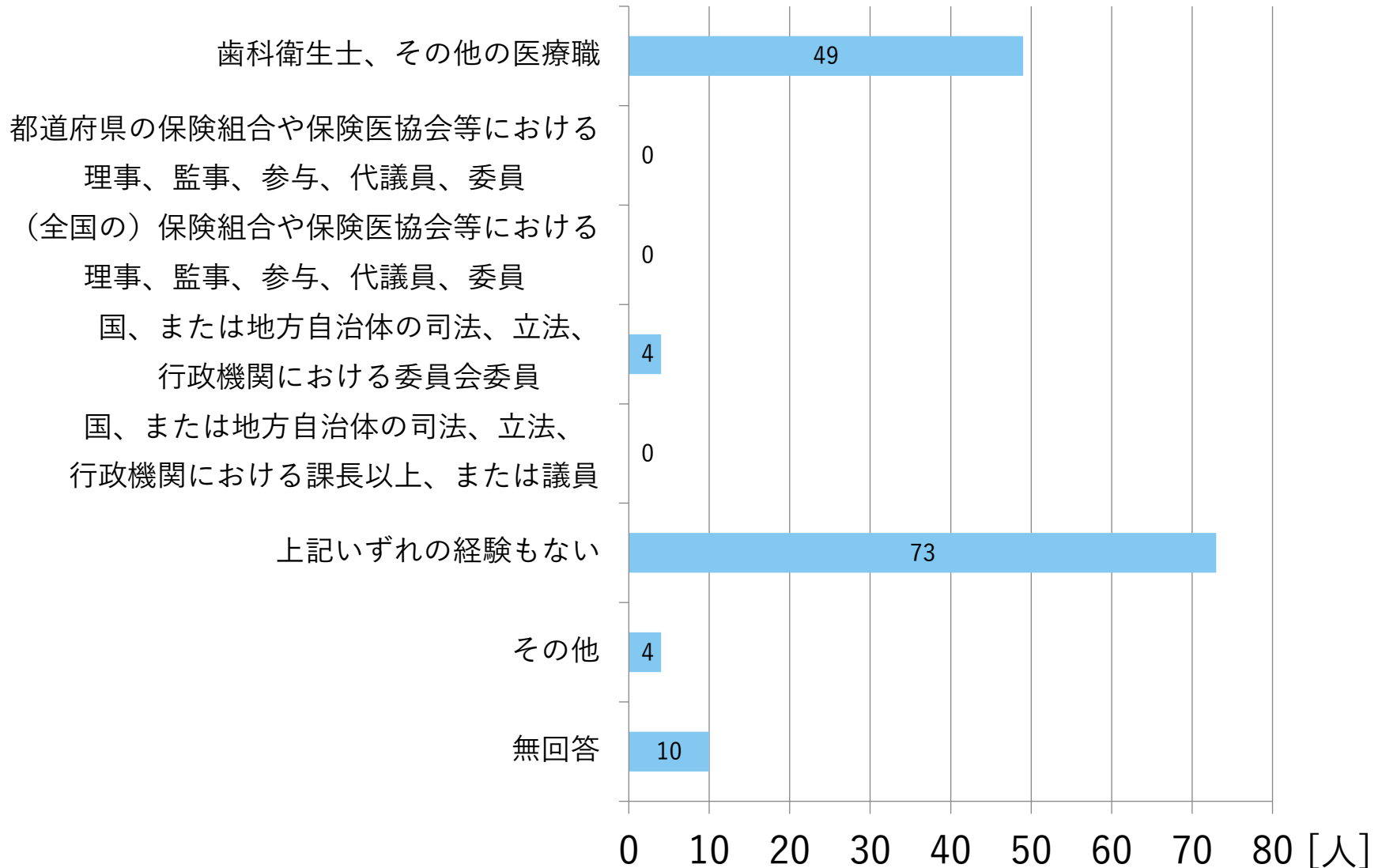
日本歯科衛生士会や日本歯科衛生士連盟に関連する 役職として経験のあるもの全て（複数選択可）



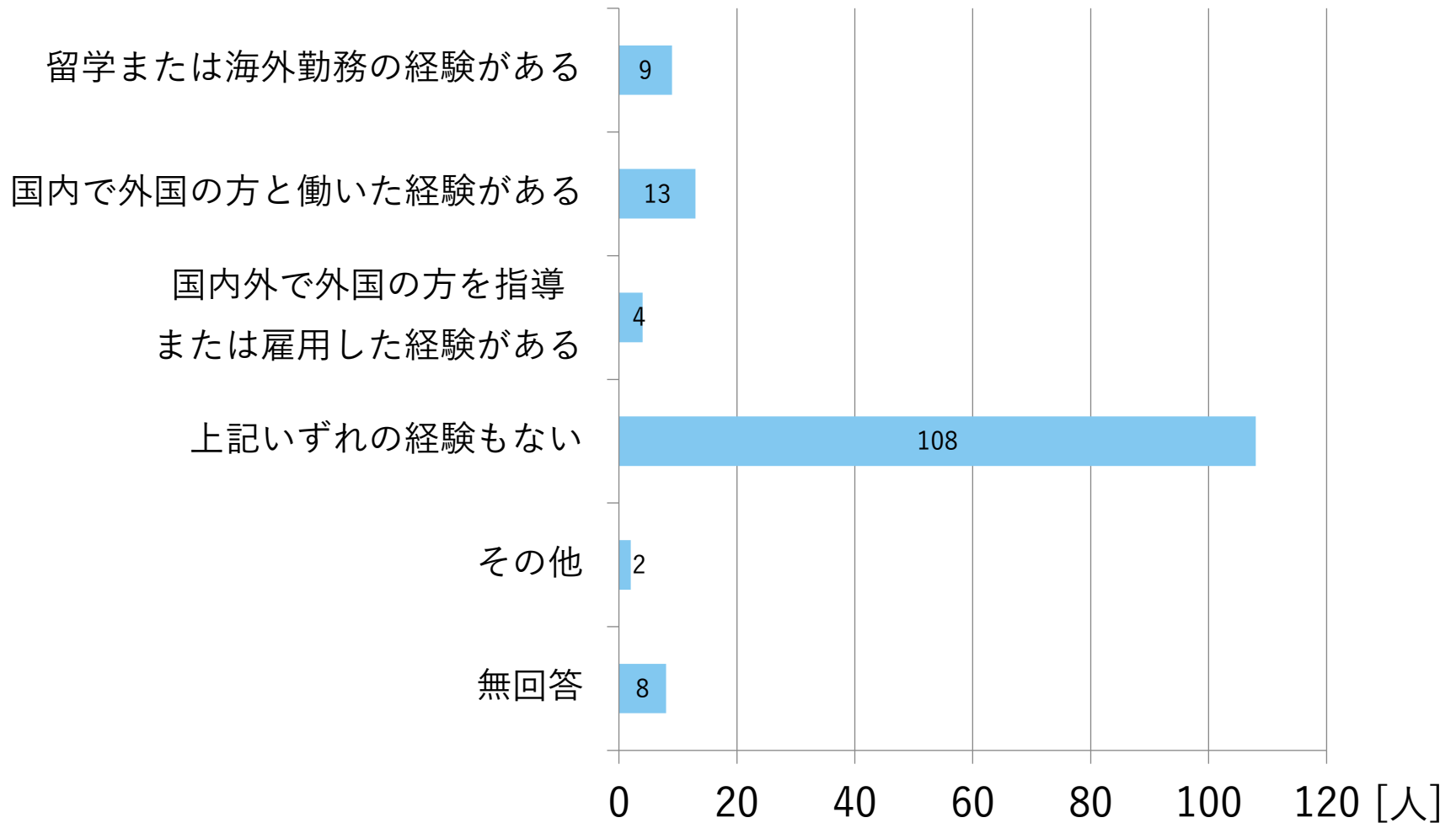
同窓会に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



行政、保健所、保険組合等に関連する役職として 経験のあるもの全て（複数選択可）



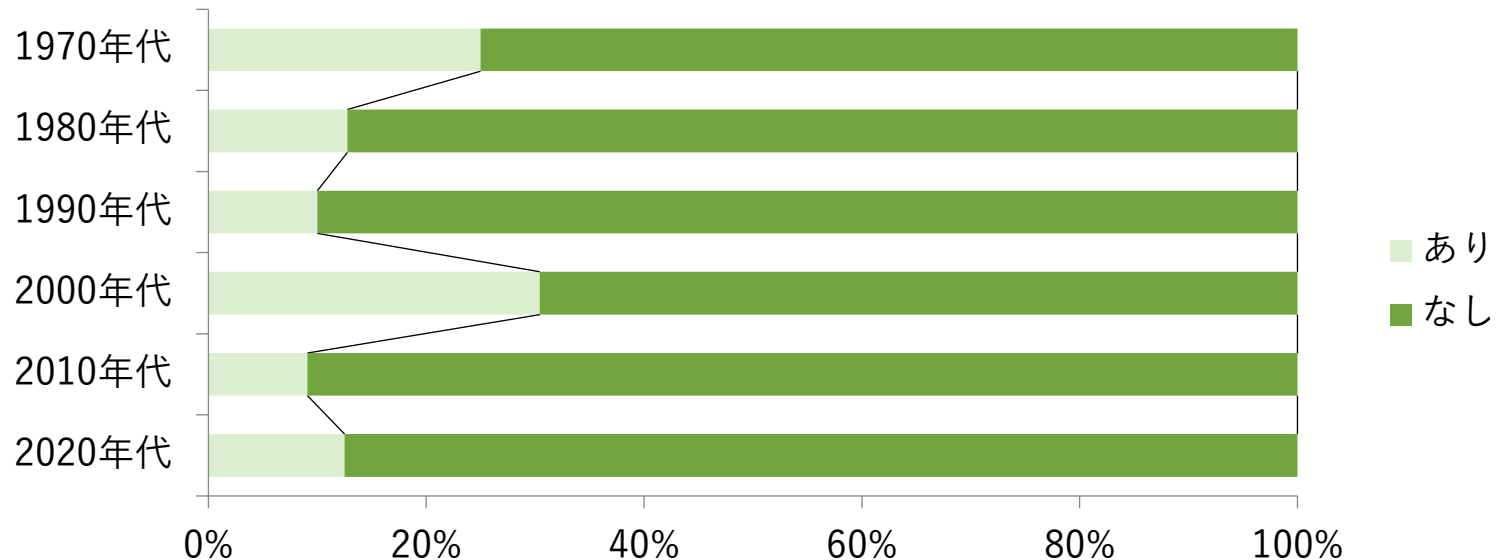
学部/歯科衛生士学校卒業以降、
国際交流で経験のあるもの全て（複数選択可）



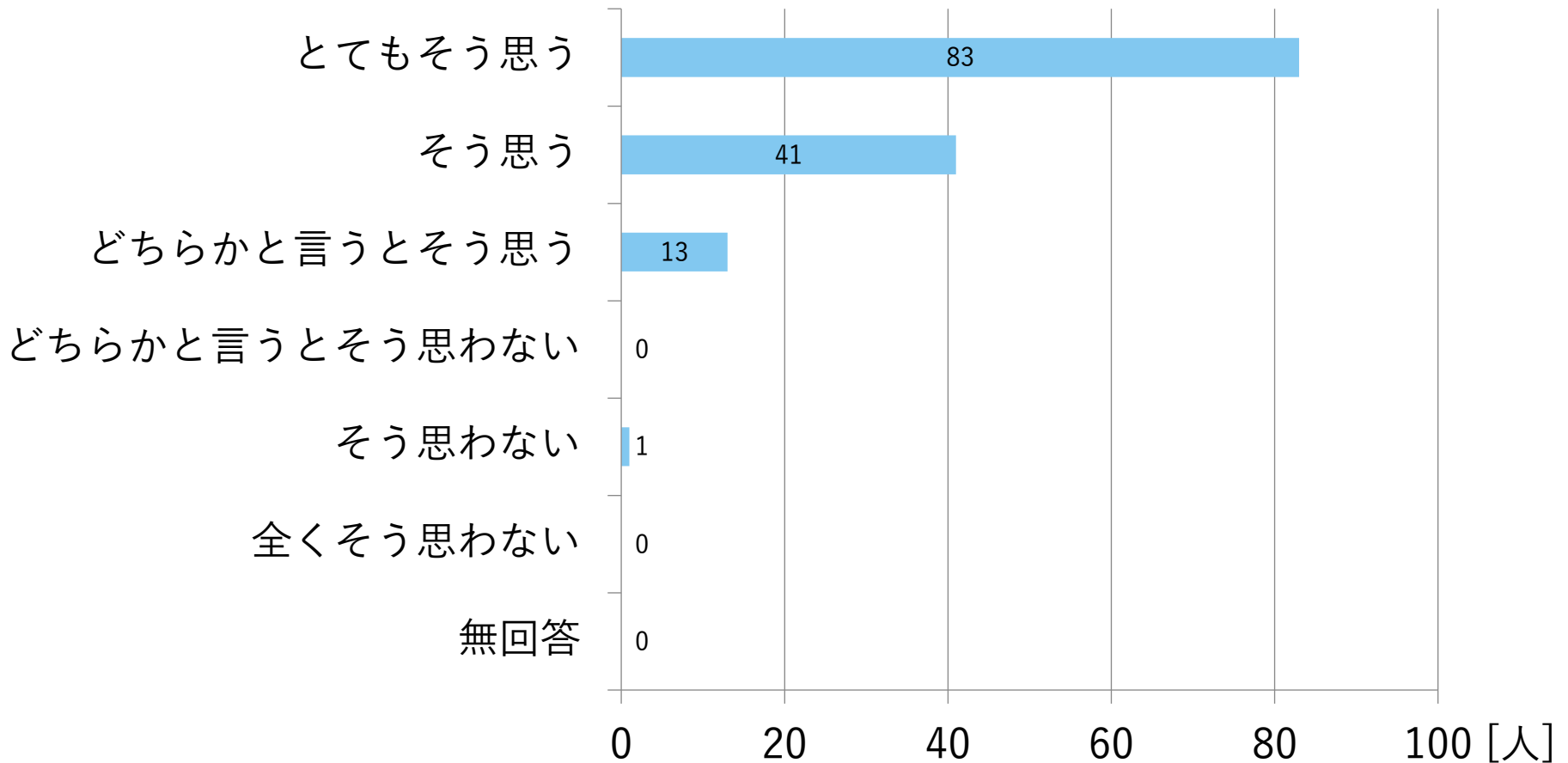
国際交流経験の有無－卒業年代との関係

	あり	なし
1970年代	25% (1人)	75% (3人)
1980年代	13% (6人)	87% (41人)
1990年代	10% (2人)	90% (18人)
2000年代	30% (7人)	70% (16人)
2010年代	9% (1人)	91% (10人)
2020年代	13% (2人)	88% (14人)
合計	16% (19人)	84% (102人)

(当該設問に無回答だった場合は集計に含めていない)



現在までを振り返って、東京医科歯科大学/東京科学大学の
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻/歯科衛生士学校を
卒業して良かったと思いますか。

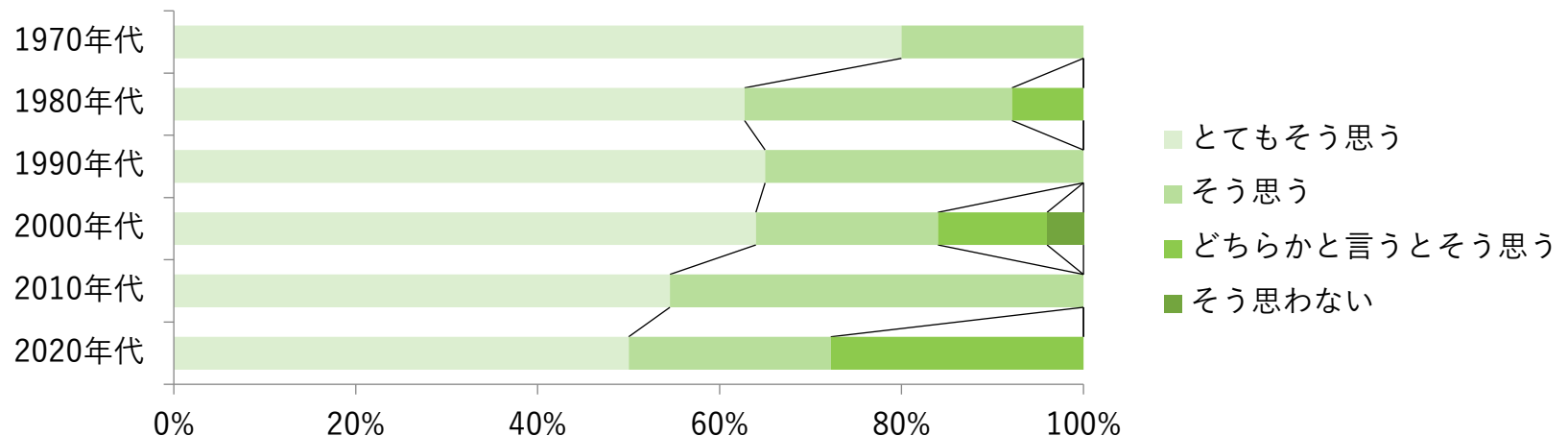


現在までを振り返って、東京医科歯科大学/東京科学大学の
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻／歯科衛生士学校を
卒業して良かったと思うかー卒業年代との関係

	とてもそう思う	そう思う	どちらかと言うと そう思う	そう思わない
1970年代	80% (4人)	20% (1人)	0% (0人)	0% (0人)
1980年代	63% (32人)	29% (15人)	8% (4人)	0% (0人)
1990年代	65% (13人)	35% (7人)	0% (0人)	0% (0人)
2000年代	64% (16人)	20% (5人)	12% (3人)	4% (1人)
2010年代	55% (6人)	45% (5人)	0% (0人)	0% (0人)
2020年代	50% (9人)	22% (4人)	28% (5人)	0% (0人)
合計	62% (80人)	28% (37人)	9% (12人)	1% (1人)

(どちらかと言うとそう思わない・全くそう思わない：選択者なし)

(当該設問に無回答だった場合は集計に含めていない)



「現在までを振り返って、東京医科歯科大学/東京科学大学の歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 / 歯科衛生士学校を卒業して良かったと思うか」について、その回答の理由（抜粋）

- ・ 歯科衛生士の専門的知識のみならず、医療、福祉、教養など幅広いカリキュラムが総合的に仕事に役立てられていると思う
- ・ 様々な実習施設での実習をしたり、歯科や福祉について幅広い講義を受けることができたり、国内外において豊富な学習機会を与えてもらっていたため。また学生時代のその経験は今に活かしていると感じるため。
- ・ 歯科衛生士として最高レベルの教育機関の中で知識、経験などを学べたことが現在に至るまでにとても役に立っている。
- ・ 国内トップの大学であり、多種多様な教育を受けることができた。学部卒業がすべてのキャリアの礎であり、1つ1つキャリアを積み重ねることができた。
- ・ たくさんの学ぶ機会をいただけたため。カリキュラムや実習先も豊富ですばらしいと思います。特に大学病院での総診実習は貴重なものでした。
- ・ 教育や実習が充実していた。1学年が少人数だったり同窓会の勉強会があったのも仕事へのモチベーション維持になった。
- ・ 専攻の人数が少人数のため、基礎・相互実習では先生方から手厚い指導を受けられ、臨床実習では大学病院の各外来やその他の様々な施設で沢山学べるから。また、他学科との合同での授業もあるため多職種連携についても学びを深められた。
- ・ チーム医療について、学部生の頃から学ぶことができたため。幅広い知識を身につけることができたと思う。
- ・ 基礎力をつけて卒業させてもらえたため、その後の自己研鑽や研究をすることができるため
- ・ 学生時代に臨床の基礎をしっかりと学べて今も身に染みている
- ・ 卒業研究、臨地実習など、他の専門学校や大学ではできなかったであろう貴重な経験が、今の進路につながっているため。
- ・ 他の学校に比べて教育内容が充実しており、教科書一辺倒ではない貴重な講義や、臨床実習を体験できたことは財産となっています。
- ・ 他大学と比べ、教育が行き届いており卒後、速やかに仕事に慣れることができた
- ・ 他校出身者と比較すると、多岐にわたる学習を習得・経験できたと思う為
- ・ 歯科医療の最先端を学べる環境だったから
- ・ 在学中に学んだ事がハイレベルであり、卒後研修が充実している
- ・ 高度な教育を受ける事ができた事と、卒業後も研修や繋がりで広く仕事をする事ができたため。
- ・ 在校期間、卒後共に様々な経験する機会があったこと。優秀で人間性豊かな仲間とともに過ごせ、生涯のかけがいのない友人を得たこと。
- ・ 恵まれた環境の中で質の高い教育を受けることができた。同窓生とのつながりのおかげで多くのチャンスを得ることができた。
- ・ 卒後も同級生、同窓生との繋がりで仕事に結びつくなど、歯科衛生士を続けてくる原動力となった